

令和元年度 自己評価報告書

令和2年4月
学校法人 文化学園
川口文化服装専門学校

I 学校の現況

(1) 学校名

学校法人文化学園 川口文化服装専門学校

(2) 所在地

〒332-0016 埼玉県川口市幸町3-5-33

(3) 沿革

昭和23年5月	学校設置認可を得る。
昭和29年11月	学校法人文化学園となり、経営体系を公共的に組織に改め、施設設備を拡充。
昭和51年	専門学校として認可される。 新たに教育内容の充実向上をはかり、専門課程と高等課程を設置する。
昭和63年4月	高等課程が埼玉県立大宮中央高等学校の単位制による通信制の課程と技能連携。
昭和63年10月	高等課程が大学入学資格付与の指定を受ける。
平成元年	課程の名称を「服飾・家政高等課程服装科」、「服飾・家政専門課程服装科」に変更。 専門課程服装科に外国人留学生の受入れを始める。
平成6年3月	専門課程服装科修了者に対し、「専門士」の称号の付与を認められる。 (文科省告示第7号)
平成7年4月	服飾・家政専門課程に「服飾専攻科」(修業年限1年)を設置。 一般を対象とした「別科服装専科(社会人コース)」を設置。

(4) 学科の構成

課程	学科	コース	修業年限	入学定員	総定員
高等課程	服装科	洋裁コース	3年	5名	75名
		高校併修コース		20名	
専門課程	服装科	洋裁コース	2年	35名	70名
	服飾専攻科	洋裁コース	1年	10名	10名

Ⅱ 項目別の自己評価表(専門学校)

1.学校の教育目標

服装に関する知識と技術を修得して、実社会に役立つ人間を育成すること。

2.本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

目標: ①専門学校入学者の増加 ②教職員業務の効率化

計画: ①SNS やホームページを活用した効率的な学生募集の実施、学校訪問実施の活性化

②近隣・周辺地域の学校とのつながりの強化

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 3 2 1
・学校における職業教育の特色はあるか	4 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	4 3 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに 向けて方向づけられているか	4 3 2 1

①課題

服飾業界に関わる職業人として求められるニーズに応えることのできる人材の育成を目指し、根本となる基礎技術の習得を基本に、本校の学生に適合した方法で人材育成に反映させていくことが必要となる。

②今後の改善方策

従来から重視している基礎技術・知識について学生全体の着実な習得と周辺項目についても幅広い視野を持てるよう指導する。

③特記事項

体験入学などの機会を通じ、上記のような基礎重視の姿勢を入学前から入学希望者や保護者に意識して伝えることができた。少人数クラスでの実践教育により、学生ひとりひとりに教員が目を向けやすい環境となっている。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 <input type="text" value="2"/> 1
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 3 <input type="text" value="2"/> 1
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 3 <input type="text" value="2"/> 1
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 3 <input type="text" value="2"/> 1
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 <input type="text" value="2"/> 1
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 <input type="text" value="2"/> 1
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 <input type="text" value="2"/> 1
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 <input type="text" value="2"/> 1

①課題

意思決定の簡素化・迅速化、運営に伴う規則の明確化

②今後の改善方策

意思決定過程については手法の工夫により今後も改善を重ねていく必要がある。運営に伴う規則についても明示可能なかたちにするために検討していく必要がある。

③特記事項

WEB サイトや SNS を活用することで学校に関する情報を公開するための利便性が向上した。

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 <input type="text" value="3"/> 2 1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 <input type="text" value="3"/> 2 1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 <input type="text" value="3"/> 2 1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 <input type="text" value="3"/> 2 1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 3 <input type="text" value="2"/> 1

・ 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

①課題

基礎を重視した専門教育を土台とし、学生が希望する進路の実現を目指した職業実践教育の活性化が必要となる。

②今後の改善方策

個々の学生の希望進路を迅速に把握し、企業・進学先の学校と連携して学生の進路実現の更なる支援を目指す。

③特記事項

資格取得に関しては、教員が手厚く指導し積極的に取組んでいる。

(4)学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・ 就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
・ 資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
・ 退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1

①課題

卒業生の進路把握については教員の個別努力により、以前よりも高い割合で具体的に把握できるようになってきている。

②今後の改善方策

日本人学生、留学生ともに進路追跡に漏れがないようにできるように体制を整える。

③特記事項

就職・進学問わず個々の学生の希望を尊重した進路指導を目指している。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 3 <input type="text" value="2"/> 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4 <input type="text" value="3"/> 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 <input type="text" value="3"/> 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 <input type="text" value="3"/> 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 3 <input type="text" value="2"/> 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 3 <input type="text" value="2"/> 1
・保護者と適切に連携しているか	4 <input type="text" value="3"/> 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 3 <input type="text" value="2"/> 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 3 <input type="text" value="2"/> 1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 <input type="text" value="3"/> 2 1

①課題

経済的な問題で、学業に専念できない学生が出ることもないよう、独自のサポート体制の設置が望まれる。留学生の退学者数についても更なる減少を目指す必要がある。

②今後の改善方策

学生の退学・除籍を未然に防ぐためにも学生の学業・生活面の支援体制の見直しが必要である。

③特記事項

優秀な学生について、積極的に奨学金や学習奨励費金制度への推薦を実施した。小規模校のメリットに加え各担任の努力もあって学生・保護者との意思疎通は緊密にできている。

また、社会人ニーズについては、服装科は昼間授業のみであるが、別科服装専科(社会人コース)で社会人を受け入れている。問合せも多く実際に受講生も順調に増加しており、内容も好評を得ており、地域社会への貢献について手応えを感じている。

(6)教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 3 <input type="text" value="2"/> 1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 <input type="text" value="2"/> 1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4 3 <input type="text" value="2"/> 1

①課題

設備の老朽化

②今後の改善方策

優先順位をつけ、予算の範囲内で随時、購入・刷新中である。

③特記事項

当該年度中に、施設の耐震診断を行った。

(7)学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 学生募集活動は、適正に行われているか	4 <input type="text" value="3"/> 2 1
・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 <input type="text" value="3"/> 2 1
・ 学納金は妥当なものとなっているか	4 <input type="text" value="3"/> 2 1

①課題

募集に関わる人員の不足もあり、学校訪問先が限られてしまう。

②今後の改善方策

募集対象の地域的拡大。学生全体における日本人学生数の割合の増加。

③特記事項

SNSを活用し、日々の授業の様子や学校の雰囲気などを広く知らせる体制を整備した。体験入学など対面でのコミュニケーションで学校の雰囲気を伝える努力も行っている。今後も一層の周知に努め、学生数増加を目指す。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 <input type="text" value="2"/> 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 <input type="text" value="2"/> 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4 <input type="text" value="3"/> 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 <input type="text" value="2"/> 1

①課題

収支計画の見通しを明確にする。

②今後の改善方策

支出内容の見直し。

③特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 3 <input type="text" value="2"/> 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 <input type="text" value="3"/> 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 <input type="text" value="3"/> 2 1
・自己評価結果を公開しているか	4 <input type="text" value="3"/> 2 1

①課題

自己評価結果をもとにした改善に時間を要している。

②今後の改善方策

自己評価結果をもとに、年度内に振り返りの機会を設ける。

学校関係者評価による公正・透明な評価方法も早期に実施する。

③特記事項

法令順守については教職員の意識づけが以前に増して浸透している。

(10)社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 <input type="text" value="2"/> 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 <input type="text" value="2"/> 1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4 3 <input type="text" value="2"/> 1

①課題

経済的に必ずしも恵まれているとは限らず、自分自身の生活に手一杯の学生も多い。

②今後の改善方策

学生に無理な負担のかからない範囲で、ボランティア情報などの紹介を充実させるべく努める。

③特記事項

(11)国際交流

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4 <input type="text" value="3"/> 2 1
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 <input type="text" value="3"/> 2 1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4 <input type="text" value="3"/> 2 1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 3 <input type="text" value="2"/> 1

①課題

留学生の在籍管理の簡素化、生活指導の徹底

②今後の改善方策

授業や日常生活での関わりを通して留学生とのコミュニケーションを積極的にとることで生活面についても注意して見守ることができるようにする。

③特記事項

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

過年度において改善のみられた業務効率化、SNS や WEB 活用による学生増加などは引き続き力を入れていく。併せて今後は、カリキュラムのブラッシュアップや実務企業との連携などといった、質的側面での向上を早期に実現することが課題となる。学生数増加に向けて学校としての宣伝に取り組んでいきたい。

項目別の自己評価表(高等専修学校)

1. 学校の教育目標

服装に関する知識と技術を修得して、実社会に役立つ人間を育成すること。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

目標：①専門学校入学者の増加 ②教職員業務の効率化

計画：①学校訪問実施の活性化、SNSを利用した効率的な学生募集の実施

②近隣・周辺地域の学校とのつながりの強化

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、 不適切…1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 <input type="text" value="3"/> 2 1
・学校における職業教育の特色はあるか	4 <input type="text" value="3"/> 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 <input type="text" value="3"/> 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	4 <input type="text" value="3"/> 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに 向けて方向づけられているか	4 3 <input type="text" value="2"/> 1

①課題

「服飾」という専門分野を通して社会経済に貢献できる人材の育成を目指す。

②今後の改善方策

少人数教育を活かして社会で必要とされる人材について実務業界からのヒアリングをより一層強化し、教職員間で共有したうえ、生徒への意識づけまでを行う必要がある。

③特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、 不適切…1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 <input type="text" value="3"/> 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 <input type="text" value="3"/> 2 1

・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

①課題

意思決定の簡素化、業務の効率化・迅速化

②今後の改善方策

意思決定過程については前年度に引き続き手法の見直しを継続して行っていく必要がある。

③特記事項

教職員の業務については、共有フォルダの整備など業務の効率化を進めるための努力を行っている。

(3)教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1

・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

①課題

基礎を重視する伝統的校風を損なうことなく最新の職業実践教育を取り入れる方法を模索中である。

②今後の改善方策

企業人材の意見を取り入れた教育課程の再編成が急務。

③特記事項

資格取得に関しては、教員が手厚く指導し積極的に取組んでいる。

(4) 生徒指導等

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・ 基本的な生活習慣の確立のため取組が行われているか	4	3	2	1
・ 生徒の安全管理のための取組等(災害共済保険、スクールカウンセラー、発達障がいのある生徒等への支援など)が行われているか	4	3	2	1
・ 生徒・保護者からの相談体制が整備されているか	4	3	2	1
・ 進学・就職指導にかかる支援体制は整備されているか	4	3	2	1

①課題

進学・就職について、従来の個別対応的手法から、ある程度システム化した手法への移行が必要。生徒の意向を尊重しながら、学校として生徒の将来に有益な指導をすることが課題である。

②今後の改善方策

生徒の意思決定の助けとなるような就職・進学情報の提供を、より一層充実させる必要がある。

③特記事項

基本的な生活習慣の確立は、担任の指導により十分達成されている。また、教室の美化にも生徒ら自らが積極的に取組んでいる。

(5) 特別活動等

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・クラブ活動等特別活動を奨励、支援しているか	4 3 <input type="text" value="2"/> 1
・保護者会等と連携した活動を推進しているか	4 3 <input type="text" value="2"/> 1

①課題

②今後の改善方策

③特記事項

クラブ活動は当校独自では実施していないが、連携校にて実施されている。また、親睦行事や修学旅行等、学生同士の交流を深めるための活動を積極的に行っている。保護者との連絡は個別のかつ緊密に行っている。

(6) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・進学率や就職率の向上が図られているか	4 <input type="text" value="3"/> 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 <input type="text" value="3"/> 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 <input type="text" value="3"/> 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 <input type="text" value="3"/> 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 <input type="text" value="3"/> 2 1

①課題

②今後の改善方策

③特記事項

退学者はゼロという結果となった。資格取得については、教員の熱心な指導もあり学生たちも積極的に挑戦している。

(7) 生徒支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
------	---------------------------

・生徒に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・生徒の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・生徒の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
・専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

①課題

進学希望者が多く、生徒にとってもキャリア・職業教育を目の前のこととして考えにくい現状がある。

②今後の改善方策

長期的なビジョンを持ちやすいよう、キャリア教育をよりいっそう工夫する必要がある。外部研修なども利用しながら教職員の指導スキルも向上させていく。

③特記事項

公的な支援が充実し、保護者の経済的な負担は非常に少なく済むようになった。

(8) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

①課題

設備の老朽化、セキュリティ管理の不足

②今後の改善方策

優先順位をつけ、予算の範囲内で随時、購入・刷新中である。

③特記事項

防災・防犯マニュアルについて担当者が適宜見直している。

(9) 生徒の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 生徒募集活動は、適正に行われているか	4 3 2 1
・ 生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 3 2 1
・ 学納金は妥当なものとなっているか	4 3 2 1

①課題

学納金の見直し。生徒募集の対応の迅速化。

②今後の改善方策

郵送、WEB の活用。学校訪問の開始時期を早め、より多くの学校に訪問できるよう努める。

③特記事項

今年度は SNS や学校 HP の問合せフォームを活用し、当校に関心をもった学生が当校へのコンタクトをとりやすくなった。

(10) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 2 1
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 2 1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 2 1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 2 1

①課題

財政情報の公開が急務である。

②今後の改善方策

財務書類の準備および公開体制の整備の迅速化が必要である。

③特記事項

(11)法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 3 2 1
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 3 2 1
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 3 2 1
・ 自己評価結果を公開しているか	4 3 2 1

①課題

個人情報をはじめとした重要情報の管理・保護の徹底

②今後の改善方策

個人情報等の重要情報の管理方法を再検討する。個々の教職員の個人情報保護に対する意識を強化するための取組みを行う。

③特記事項

自己評価結果をホームページ上に掲載し、一般に公開している。

(12)社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 2 1
・ 生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 2 1
・ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4 3 2 1

①課題

ボランティアなどは、情報告知はしているが、生徒が積極的に参加するには至っていない。

②今後の改善方策

生活指導の一環として社会貢献活動の意義などを説いていく。

③特記事項

地域社会への貢献として、社会人コースが非常に好評である。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

学生募集において、SNS等の活用により当校に関心をもつ学生が当校にコンタクトをとりやすい環境をつくることができた。さらなる学生増加に向けて努めたい。個々の学生の希望進路を実現するため、就職・進学を問わず将来的な支えとなるようなキャリア観を育成すべく、サポート体制を引き続き検討していく必要がある。今後も実践的な職業教育を重視し、少人数教育ならではの丁寧な指導を継続していきたい。